学校番号	１３０２

令和８年度　（学）共生科

教科	（学）共生	科目	（学）パラスポーツ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	使用教材なし						
副教材等	使用教材なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

パラスポーツに関する基礎的、基本的な知識や技能を学びます。パラスポーツに関する知識を座学で習得したのち、実技を通して、基礎的な技能や知識を身に付け、仲間と協力しながらパラスポーツを楽しみます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・パラスポーツに関する基礎的な知識・技能を習得し、それらを実践する中で各運動種目の楽しさを味わう力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、課題解決に向けて必要な技能を考え、表現できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を身につける。
・積極的に参加し楽しむ能力を養い、周りにいる仲間と協力して活動する力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習の仕方、パラスポーツを行う際の留意点を理解し、健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 障がいやパラスポーツの歴史について理解している。	自己や仲間の課題に応じた運動の取組を工夫できる。 各種スポーツの技能向上を図る為の計画を考え、実践することができる。 種目スポーツの特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したりすることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		・パラスポーツの歴史概要 ・視覚障がいの概要 【ゴールボール】 ・肢体不自由の概要 【ボッチャ】	a:ガイダンスの説明で競技の特性を理解する。授業中に取り組むワークシートの内容を理解する。 b:実技試験で楽しさや心地よさを表現できる。各種目のボールを扱う力を身につけるために必要な技能を考え、表現できる。 c:授業中に取り組むワークシートに記入し、提出することができる。競技の特性を理解し、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わうことができる。	ワークシート 小テスト	実技試験	ワークシート 授業態度
2学期		・肢体不自由の概要 【シッティングバレーボール】 【スポーツ車いす】 【車いすバスケットボール】	a:ガイダンスの説明で競技の特性を理解する。授業中に取り組むワークシートの内容を理解する。 b:記録を伸ばすために必要な技能を考え、表現できる。車いすやボールなどを扱うために必要な技能を習得し、考え、表現できる。 c:授業中に取り組むワークシートを記入し、提出することができる。記録を伸ばすための練習を積極的に行うことができる。	ワークシート 小テスト	実技試験	ワークシート 授業態度

3学期		・生涯スポーツの概要 【キンボール】 【フライングディスク】	a:ガイダンスの説明で競技の特性を理解する。授業中に取り組むワークシートの内容を理解する。 b:実技試験で上手に表現できる。ディスクやボールなどを扱う力を身につけるために必要な技能を考え、表現できる。 c:授業中に取り組むワークシートを記入し、提出することができる。ボールなどを扱う技術向上のための練習を積極的にできる。	ワークシート 小テスト	実技試験	ワークシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度